



平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月2日

上場会社名 株式会社 キングジム
 コード番号 7962 URL <http://www.kingjim.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 吉岡 隆昭
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月2日 配当支払開始予定日 平成24年3月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 03-3864-5883

平成24年3月6日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第2四半期の連結業績(平成23年6月21日～平成23年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	13,150	△0.5	82	△35.8	56	△19.3	△19	—
23年6月期第2四半期	13,210	5.1	128	—	69	—	63	—

(注) 包括利益 24年6月期第2四半期 △55百万円 (—%) 23年6月期第2四半期 △103百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	△0.72	—
23年6月期第2四半期	2.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第2四半期	25,007	15,725	62.1
23年6月期	24,088	16,011	65.5

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 15,533百万円 23年6月期 15,784百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年6月期	—	7.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年6月21日～平成24年6月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,200	5.4	1,000	7.8	940	13.9	560	8.1	20.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期2Q	32,459,692 株	23年6月期	32,459,692 株
② 期末自己株式数	24年6月期2Q	4,787,312 株	23年6月期	4,787,278 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期2Q	27,672,394 株	23年6月期2Q	27,672,853 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、年末商戦が好調となるなど、一部に景気回復の兆しがみられたものの、長引く円高による企業環境の悪化や世界経済の減速など、依然として先行き不透明な状態が続きました。

当業界におきましても、景況の不透明感から法人需要の低迷や、低価格志向により引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、新製品の投入を中心とする積極的な販売活動を展開すると共に、直営の雑貨小売店Toffy Shopの店舗網の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高 131億 5,032万円（前年同期比 0.5%減）、営業利益 8,281万円（前年同期比 35.8%減）、経常利益 5,622万円（前年同期比 19.3%減）、四半期純損失 1,998万円（前年同期は 6,334万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第2四半期連結会計期間より、従来の「文具事務用品の製造・販売事業」および「インテリア・雑貨小物の企画・販売事業」をそれぞれ「文具事務用品事業」および「ライフスタイル雑貨事業」に名称変更いたしました。当該変更については、名称変更のみであり、報告セグメントの変更はありません。

① 文具事務用品事業

ステーションリー※では、「キングファイル」に10cmと13cmの大容量タイプを発売いたしました。また、大好評をいただいている次世代文房具「ショットノート」には、メモパッド専用のカバー（Mサイズ、Lサイズ）の2種を追加し、「ショットノート」の新たなユーザー層の獲得を目指し、より一層の市場拡大を図ってまいりました。

※当第2四半期連結会計期間より、従来の「一般文具」を「ステーションリー」に名称変更いたしました。

電子製品※では、植物の成長や風景などのインターバル撮影が手軽に楽しめるインターバルレコーダー「レコロ」や、手をかざすと自動でアルコールが噴出する手指消毒器「アルサット」などの新しい概念の商品を発売し、数多くのお客様からのご支持をいただくことができました。

また、平成20年の発売以来大好評をいただいている、いつでもどこでもメモがとれるデジタルメモ「ポメラ」に、薄さ・軽さ・打ちやすさを追求、搭載機能が向上した集大成モデル「DM100」を発売し、商品ラインの強化を図りました。

主力の「テブラ」では、エントリー機種「テブラ」PRO SR150、SR250、ポケモン「テブラ」SR-PBW1のほか、100mm幅の大きなラベルが作成できるラベルプリンター「テブラ」Grand WR1000や消灯時・停電時に一定期間の発光が続く「テブラ」PROテープ蓄光ラベルを発売し、ラベルライター市場の活性化と拡大を積極的に行ってまいりました。

※当第2四半期連結会計期間より、従来の「電子文具」を「電子製品」に名称変更いたしました。

この結果、売上高は 110億 7,688万円（前年同期比 0.2%減）、営業損失は 5,642万円（前年同期は 4,890万円の営業利益）となりました。

② ライフスタイル雑貨事業

連結子会社では「Toffyで彩る私の毎日」をキャッチフレーズにToffyシリーズの拡充と新製品の拡販に努めてまいりました。

㈱ラドンナでは、コンパクトで持ち運び可能、いつでもどこでもクリーンな空気を提供する「卓上空気清浄機」、木の実のような小さくかわいいアロマディフューザー「ウッドイーボールミニ」、ティアラとハートをかたどった「フォトフレーム」などを発売いたしました。㈱Gクラスでは、バスタイムを快適に過ごすためのアイテムとして「Toffyフローティングバスタイマー」と「Toffyウォーターブルーフタイマー」を発売。また繰り返し使える充電式カイロながら、モバイル機器のバッテリーチャージャーにもなる「ToffyUSBハンドウォーマー」などを提案し、可愛らしくて機能的な雑貨の拡販に努めてまいりました。㈱アスカ商会では、外部展示会や催事販売への積極的な参加により、アーティフィシャルフラワーの魅力をより身近に感じていただくと共に、フラワーベース付フラワーアレンジメント等の生活に密着した商品開発に努めてまいりました。

この結果、売上高は 20億 7,343万円（前年同期比 1.9%減）、営業利益は 1億 1,318万円（前年同期比 84.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して9億1,833万円増加し、250億705万円となりました。これは主に、需要期に向けた生産の増加に伴う、商品及び製品の増加ならびに材料有償支給に係る未収入金の増加等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して12億446万円増加し、92億8,146万円となりました。これは主に、短期借入金や買掛金の増加等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して2億8,613万円減少し、157億2,558万円となりました。これは主に、第63期期末配当金の支払いや四半期純損失の計上による利益剰余金の減少等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して1億4,092万円増加し、31億7,178万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、7,068万円(前年同期は12億5,931万円の資金使用)となりました。これは主に、たな卸資産の増加6億5,223万円があった一方、税金等調整前四半期純利益3,662万円や、仕入債務の増加額6億6,525万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億6,969万円(前年同期は1億3,476万円の資金獲得)となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出3億3,993万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、3億6,525万円(前年同期比74.6%減)となりました。これは主に、短期借入金の純増額9億円に対し、長期借入金の返済による支出3億4,000万円や配当金の支払による支出1億9,414万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年1月27日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.69%から、平成24年6月21日に開始する連結会計年度から平成26年6月21日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については38.01%に、平成27年6月21日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.64%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は23,087千円減少し、法人税等調整額は23,087千円増加しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,211,397	3,434,620
受取手形及び売掛金	4,235,506	4,247,110
有価証券	10,456	10,461
商品及び製品	4,966,429	5,547,757
仕掛品	240,235	269,673
原材料及び貯蔵品	963,172	979,080
繰延税金資産	309,777	250,771
その他	654,740	995,474
貸倒引当金	△16,013	△10,749
流動資産合計	14,575,703	15,724,198
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,291,436	6,304,379
減価償却累計額	△3,526,321	△3,609,326
建物及び構築物(純額)	2,765,115	2,695,053
機械装置及び運搬具	2,031,278	2,042,149
減価償却累計額	△1,364,768	△1,344,247
機械装置及び運搬具(純額)	666,510	697,901
土地	2,032,510	2,032,510
建設仮勘定	24,574	8,694
その他	2,536,002	2,577,210
減価償却累計額	△2,326,087	△2,266,491
その他(純額)	209,915	310,718
有形固定資産合計	5,698,626	5,744,878
無形固定資産		
のれん	141,577	128,707
その他	319,323	343,249
無形固定資産合計	460,901	471,956
投資その他の資産		
投資有価証券	1,090,520	1,010,375
繰延税金資産	158,619	222,517
保険積立金	504,090	408,414
前払年金費用	170,676	87,623
その他	1,615,183	1,517,164
貸倒引当金	△185,605	△180,075
投資その他の資産合計	3,353,485	3,066,019
固定資産合計	9,513,013	9,282,853
資産合計	24,088,717	25,007,052

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,154,596	2,810,441
短期借入金	900,000	1,800,000
1年内返済予定の長期借入金	1,680,000	1,680,000
未払法人税等	95,122	54,593
未払金	630,587	676,034
役員賞与引当金	14,206	4,819
その他	708,236	690,018
流動負債合計	6,182,748	7,715,906
固定負債		
長期借入金	1,360,000	1,020,000
繰延税金負債	22,002	25,366
退職給付引当金	113,037	116,748
役員退職慰労引当金	242,268	253,416
資産除去債務	30,696	25,650
負ののれん	5,022	3,766
その他	121,221	120,607
固定負債合計	1,894,249	1,565,556
負債合計	8,076,997	9,281,462
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,978,690	1,978,690
資本剰余金	2,674,999	2,674,999
利益剰余金	16,298,088	16,084,400
自己株式	△4,230,762	△4,230,780
株主資本合計	16,721,016	16,507,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△317,971	△345,182
為替換算調整勘定	△618,824	△628,389
その他の包括利益累計額合計	△936,796	△973,571
新株予約権	70,050	33,066
少数株主持分	157,449	158,785
純資産合計	16,011,720	15,725,589
負債純資産合計	24,088,717	25,007,052

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月21日 至平成22年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月21日 至平成23年12月20日)
売上高	13,210,459	13,150,328
売上原価	8,152,571	8,123,994
売上総利益	5,057,888	5,026,333
販売費及び一般管理費	4,928,951	4,943,521
営業利益	128,936	82,811
営業外収益		
受取利息	3,518	3,472
受取配当金	26,358	24,809
屑売却益	15,848	17,591
貸倒引当金戻入額	—	3,927
その他	12,137	17,714
営業外収益合計	57,862	67,516
営業外費用		
支払利息	26,714	21,729
為替差損	59,602	46,163
その他	30,838	26,210
営業外費用合計	117,155	94,103
経常利益	69,643	56,224
特別利益		
固定資産売却益	241	732
貸倒引当金戻入額	14,754	—
事業譲渡益	12,628	—
資産除去債務戻入益	—	5,299
新株予約権戻入益	—	36,984
特別利益合計	27,624	43,016
特別損失		
固定資産除売却損	11,457	9,166
投資有価証券評価損	558	53,451
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,819	—
特別損失合計	22,836	62,617
税金等調整前四半期純利益	74,432	36,622
法人税、住民税及び事業税	53,192	43,601
法人税等調整額	△43,653	△1,120
法人税等合計	9,538	42,480
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	64,893	△5,858
少数株主利益	1,550	14,123
四半期純利益又は四半期純損失(△)	63,343	△19,981

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月21日 至平成22年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月21日 至平成23年12月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	64,893	△5,858
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,651	△27,210
為替換算調整勘定	△178,159	△22,351
その他の包括利益合計	△168,508	△49,562
四半期包括利益	△103,615	△55,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△93,711	△56,756
少数株主に係る四半期包括利益	△9,903	1,335

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月21日 至 平成22年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月21日 至 平成23年12月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	74,432	36,622
減価償却費	355,978	322,685
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,819	—
のれん償却額	12,870	12,870
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△23,953	△10,782
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,451	4,714
前払年金費用の増減額(△は増加)	43,781	83,053
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,204	11,148
受取利息及び受取配当金	△29,876	△28,281
負ののれん償却額	△1,255	△1,255
支払利息	26,714	21,729
為替差損益(△は益)	62,227	32,984
固定資産除売却損益(△は益)	11,216	8,434
事業譲渡損益(△は益)	△12,628	—
新株予約権戻入益	—	△36,984
資産除去債務戻入益	—	△5,299
売上債権の増減額(△は増加)	△241,948	△20,664
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,415,884	△652,231
その他の資産の増減額(△は増加)	△74,431	△281,357
仕入債務の増減額(△は減少)	△15,109	665,250
未収消費税等の増減額(△は増加)	△22,515	△12,572
未払消費税等の増減額(△は減少)	13,109	△91,027
その他の負債の増減額(△は減少)	54,061	39,912
その他	△4,887	49,731
小計	△1,185,934	148,680
利息及び配当金の受取額	30,874	28,382
利息の支払額	△27,019	△22,674
法人税等の支払額	△100,369	△99,349
法人税等の還付額	23,136	15,643
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,259,313	70,682

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月21日 至平成22年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月21日 至平成23年12月20日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	300,000	—
投資有価証券の取得による支出	△180	△180
保険積立金の積立による支出	△88,469	△100,000
投資有価証券の払戻による収入	—	4,467
保険積立金の解約による収入	49,562	200,023
有形及び無形固定資産の取得による支出	△224,494	△339,932
有形及び無形固定資産の売却による収入	359	3,951
敷金及び保証金の差入による支出	△18,675	△58,954
敷金及び保証金の回収による収入	16,636	110,673
定期預金の預入による支出	△3,030	△189,819
定期預金の払戻による収入	92,264	101,455
事業譲渡による収入	12,628	—
その他	△1,834	△1,375
投資活動によるキャッシュ・フロー	134,767	△269,690
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,970,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△340,000	△340,000
自己株式の売却による収入	2	—
自己株式の取得による支出	△138	△18
配当金の支払額	△193,070	△194,149
その他	△582	△572
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,436,210	365,259
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26,486	△25,328
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	285,178	140,922
現金及び現金同等物の期首残高	2,572,900	3,030,860
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,858,079	3,171,783

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年6月21日 至平成22年12月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	文具事務用品の 製造・販売事業	インテリア・ 雑貨小物の 企画・販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,095,992	2,114,467	13,210,459	—	13,210,459
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,216	75,080	89,297	(89,297)	—
計	11,110,209	2,189,547	13,299,757	(89,297)	13,210,459
セグメント利益	48,900	61,208	110,109	18,827	128,936

(注) 1. セグメント利益の調整額 18,827千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年6月21日 至平成23年12月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	ライフスタイル 雑貨事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,076,888	2,073,439	13,150,328	—	13,150,328
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,614	68,823	80,437	(80,437)	—
計	11,088,502	2,142,262	13,230,765	(80,437)	13,150,328
セグメント利益又は損失(△)	△56,426	113,184	56,758	26,053	82,811

(注) 1. セグメント利益の調整額 26,053千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当第2四半期連結会計期間より、従来の「文具事務用品の製造・販売事業」および「インテリア・雑貨小物の企画・販売事業」をそれぞれ「文具事務用品事業」および「ライフスタイル雑貨事業」に名称変更いたしました。当該変更については、名称変更のみであり、報告セグメントの変更はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。